が水平位置から5°降下したときに接触し，また45°の位置を示す方の接点は信号腕が35°から45°の間にあるとき接触したり，解放したりするように調整する。この場合はクランクおよび接続桿の長さを調整して行う。——A型電気信号機。信号反応器。(西沢　毅)

うのせん　宇野線　山陽本線岡山駅から宇野高松間連絡船航路の接続駅宇野駅に至る32.9kmの線。山陽線に属し線路等級は乙線である。宇野・高松間連絡船航路と山陽本線とを結ぶ線で，明治43・6岡山・宇野間建設，宇野線と呼ぶこととしたものである。宇野・高松間航路の開設もこれと時を同じくする。(森　悌寿)

うべせん　宇部線　山陽本線小郡駅から海岸にそって宇部駅を経て山陽本線西宇部駅に至る33.3kmの線。居能・沖ノ山新鉱間4.0kmの枝線を含み総営業キロは37.3km。山陽線に属し線路等級は丙線である。

小郡・西宇部間は大正14・3，居能・沖ノ山新鉱間は昭和5・4いずれも宇部電気鉄道株式会社によって全線建設，昭和18・5政府に買収され宇部線と呼ぶこととなった。(森　悌寿)

うめころし　埋め殺し　トンネル支保工・コンクリート型枠(かたわく)・土工用足場丸太等の仮設物を除去することが非常に困難，または非経済的な場合に，地中またはコンクリート中に永久に埋込むことをいう。(松島　甫)

うらえき　裏駅　(英)back entrance; rear side station　駅裏口の俗称。旅客取扱駅で通例線路を中心として両側に出入口を設け出札，改集札等の業務を行う場合，おもなる駅本屋のある方を本屋口，その反対側のものを裏口という。この裏口は裏駅と呼ばれることがある。普通本屋口よりは小規模で手荷物，小荷物等を取扱わない場合がある。裏口はまたその所在する方位によって方位を冠して東口，西口等という場合もある。

裏口は利用者にとってはできるだけ各駅にあることが望ましいが，国鉄では要員，施設等の増加を伴ない，経費の支出増をきたすので裏口設置については現在年間乗降人員200万人以上の駅で，裏口の利用がその30%をこえるものについて新設することとしている。

裏駅は国鉄が独自の目的で設置するときは別として，請願によって設けるときは，①　大都市付近および電車区間の駅で1箇年乗降200万以上を有し，用地費および工事費を請願者において寄付するもの，②　裏口設置により収支償うもの（利子を含む）は国鉄負担とすることができるが用地費は寄付しなければならぬ，などの設置基準にしたがってつくっている。(森　悌寿・鳥羽秀雄)

うらごめ　裏込め　隧道(ずいどう)の覆工背部，護岸および土留壁等土圧に対抗する建造物で，その裏側に岩石，栗石，砂利，コンクリートくずおよびコンクリートを塡充(てんじゅう)すること。隧道の裏込は覆工完成後地山のゆるむのを防ぎ，土圧を覆工に一様に伝えるために重要な役目をするもので，おもに掘さく岩石や貧配合のコンクリートが用いられている。裏込めを完全にするために，さらにモルタルを注入することがある。

土留壁の裏込めは背部の排水をよくし土圧を軽減するもので，栗石や砂利が用いられている。この場合裏込めはその施工箇所が切取であるか，築堤であるかにより厚さを加減すべきものであるが，つめ方が悪かったり，あまり細かい目つぶし砂利を使用すると，排水効果を減少し土留壁の崩壊を起すことがある。——石積。(尾崎　寿)

うるしおせん　漆生線　後藤寺線赤坂駅から南方3.6kmの漆生駅に至る線および漆生・稲築間1.0kmの貨物支線。筑豊線に属する丙線。

大正2・8赤坂と漆生を結ぶ鉄道として開通，漆生線と呼ぶこととした。また漆生・稲築間は大正12・5石炭輸送を目的として建設された。(森　悌寿)

うれしのせん　嬉野線　佐賀県杵島郡武雄町から長崎県彼杵町に至る国鉄自動車路線であって，所管する自動車営業所は，佐賀県藤津郡嬉野町(嬉野)にある。

1　区間・キロ程および沿革

嬉野本線	武雄・彼杵	26km	昭17・4・1開業
	大野原口・皿屋谷	6	昭29・6・15
波佐見線	嬉野・舞相	11	昭26・10・13

2　営業範囲　旅客・手小荷物および貨物の取扱をしている。

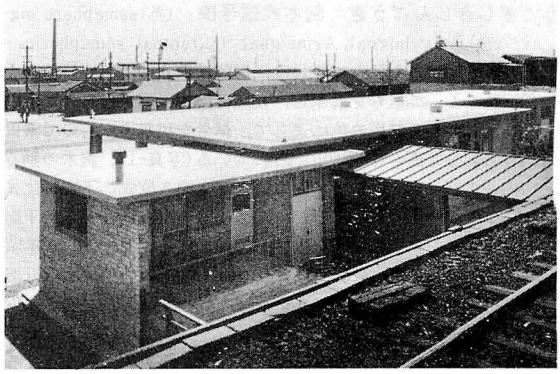
3　使命　佐世保線と大村線とを武雄駅および彼杵駅で短絡する鉄道短絡路線である。盆地の中央を嬉野川が流れ四囲は低丘連なり，清流を引いた池の周囲に嬉野温泉の浴舎が建ちならんでいる。周遊割引の指定地に指定され旅客運賃の1割引の取扱をしている。伝説によれば神功皇后が白鶴の浴するを見て発見されたといい，付近は嬉野茶の産地で不動山には親木(天然記念物)があり，大草野の源氏ほたるは天然記念物となっている。古書に有名な温泉で今は嬉野茶や陶磁器，弓野人形などの土産品で知られている。永寿寺には国宝を蔵している。(松沢信之)

うわじません　宇和島線　予讃本線北宇和島駅から近永，吉野生駅を経て江川崎駅に至る33.6kmの線。予讃線に属し線路等級は丙線である。

大正3・10北宇和島・近永間，大正12・12近永・吉野生間宇和島鉄道株式会社によって開通，昭和8・8政府に買収され宇和島線と呼称。昭和28・3江川崎まで開通したものである。(森　悌寿)

うわまわり　上回り　鉄道車両の検査修繕上に用いられる語であって，だいたい台枠(だいわく)を境界とし，台枠から下の方の部分を**下回り**その他の部分を上回りと呼び慣らわしているが，その厳密な区分は明らかではない。(下村篤夫)

うわや　上家　(英)shed　旅客・貨物などが雨露にぬれないように設けられ，屋根を主体とし原則として側壁のない建物。つ



1.　鷹取駅本屋と連絡上家